機械器具(58)整形用機械器具

一般医療機器 歯科インプラント技工用器材 JMDN コード:70757000

POI EX 専用研磨ツール

【形状・構造等及び原理等】

- (1) 本製品は、POI EXシステムの専用器具である。
- (2) プラスチックコネクターR EX 又は ST EX を用いて作製され た補綴物の鋳造体の適合調整(研磨)を行う際、使用され る。
- (3) サイズ等については外装の表示ラベルに記載されている。
- (4) 形状・材質け次の通りである。

製品名	外観	用途	材質
ラッピング ドライバー EX A		アクセスホール研磨用	ステンレス
ラッピング ドライバー EX B		フィクスチャーと の接合面研磨用	
ドライバー ガイド EX		フィクスチャーと の接合面研磨用	
ポリッシング プロテクター EX	(ラボスクリューEX) →	フィクスチャーと の接合面保護用	鋼

・製品は、外袋に記載されている品名に対応する1種が包装されています。 ・ラボスクリューEX は本製品に含まれていません。

(原理等)

- ラッピングドライバーEX A または B は、プラスチックコネ クターR EX 又は ST EX を用いて作製された補綴物とフィク スチャーとのアクセスホールや接合面を適合調整 (研磨) するため使用される。
- ラッピングドライバーEX B はドライバーガイド EX と組み合 わせて使用する。
- ポリッシングプロテクターEX は、研磨の際、補綴物に装着 し、フィクスチャーとの接合面を保護する。

【使用目的又は効果】

本製品は、歯科用インプラントの上部構造を作製するために 用いる歯科技工用の器具・材料である。

【使用方法等】

本製品は専用器具を用いて作製された補綴物鋳造体の適合調 整(研磨)を行う際、使用する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- (1) 各器具の使用方法
- 1) ラッピングドライバーEX A の使用方法(図1) 鋳造体咬合面側よりアクセスホ
 - ールに挿入し、抵抗がなくなるま で用手的に右回転させて内面を研 磨調整する。

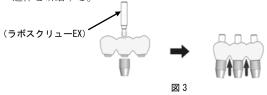


- 2) ラッピングドライバーEX Bの使用方法(図2)
- ① ドライバーガイド EX を鋳造体咬合面 側よりアクセスホールに挿入する。
- ② 鋳造体より突出したドライバーガイ ド EX のシャフト部とラッピングドラ イバーEX Bを組み合わせる。
- ③ 鋳造体より突出したドライバーガイ ドEX のシャフト部を軸にしてラッピ ングドライバーEX B を用手的に右回 転させ、フィクスチャーとの接合面 を研磨調整する。



図 2

- 3) ポリッシングプロテクターEX の使用方法(図3)
- ① ラッピングドライバーEX A、B により研磨調整を終えた鋳 造体嵌合面にポリッシングプロテクターEXを嵌め合わせる。
- ② ラボスクリューEX により固定し、適切な研磨器具を用い鋳 造体を研磨する。



- (2) 詳しい使用方法については、取扱説明書 (POI EX マニュ アル)を参照すること。
- (3) ラッピングドライバーEX A、B は、微調整の範囲で使用す ること。著しい鋳肌荒れ、気泡などの鋳造欠陥が生じた鋳 造体は、使用を中止すること。
- (4) ラッピングドライバーEX B を過度に使用すると適合不良を 招く場合がある。調整面の状態を見ながら少しずつ作業を 進めるようにすること。
- (5) ラッピングドライバーEX A、B の切れ味が低下してきた場 合は、新しい製品と取り替えること。
- (6) ポリッシングプロテクターEX は、研磨作業により消耗する。 嵌合辺縁部に消耗が見られる場合は、新しい製品と取り替 えること。
- (7) 研磨作業中にポリッシングプロテクターEX を固定している スクリューがゆるみ、ポリッシングプロテクターEX が鋳造 体から外れる可能性がある。研磨作業においては、必ずス クリューを締め付け、ポリッシングプロテクターEX が固定 されていることを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

使用後の保守

- (1) 使用後は刃部に付着した削りカスを取り除くこと。
- (2) 水分、油脂分は拭き取っておくこと。
- (3) 上記(1)(2)には柔らかい布や刷毛を使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 製造販売業者

京セラメディカル株式会社 TEL: 0120-923725